



「子どもが楽しめる歌をもっと届けたい」と、高橋さん

輝いています

アニメソング&キッズソングシンガー

ひと

たか はし ひで ゆき
高橋 秀幸 さん

歌を通してまちを盛り上げる

2 日間で延べ5252人が訪れ、にぎわいをみせた錦町地区生涯学習フェスティバル。そのなかでもひときわ熱気を帯びたステージの中心にいたのが高橋秀幸さん(43歳)です。特撮テレビドラマ「炎神戦隊ゴーオンジャー」の主題歌でデビューし、歌手としてその後も数多くの楽曲に携わっています。

高校時代に学園祭ののど自慢大会で優勝したことがきっかけで歌手の道を志した高橋さん。音楽の専門学校を卒業後、アルバイトをしながらバンド活動を行っていましたが、日の目を見ない日々が続きました。そして28歳のとき、大学の先輩から紹介された音楽

関連の会社に就職することに。しかし、歌手の夢を完全に捨てられなかった高橋さんは、担当した楽曲コンペ用の歌のボーカルに情熱を注ぎ込み、僅かな可能性に賭けました。すると、主題歌オーディションの声がかかり、みごとに合格。34歳で念願のデビューを果たしました。童謡から演歌まで幅広い音楽を爽やかに歌いこなす高橋さんは、瞬く間に人気歌手に。今年2月には南米ペルーで約2000人を前に公演を行い、会場は熱狂の渦に包まれました。

一方、子ども向けテレビ番組の「歌のお兄さん」を務めたことで、絵本の読み聞かせや子育てに関する講演も行う高橋さん。大舞台のライブも、子どもたち相手の手遊び歌も人を元気に、笑顔にするという点では同じで「どちらも全力投球です」と、ほほえみます。

そんな高橋さんは「夢を追いかけ、成長したこの歳に恩返ししたい」との気持ちから、9月の錦町地区合宿通学で夜間の子どもの見守りを行うなど、地域での活動も始めています。子どもたちのヒーローであり、まちを盛り上げるヒーロー、高橋さんの今後の活躍を乞う御期待ください。

今月の河鍋暁斎記念美術館

天才絵師の作品 蔵にあり

— No. 6 —



現在の茨城県古河市で生まれる。浮世絵や狩野派を学び、江戸・東京の庶民から人気を博す。明治9年、万国博覧会に肉筆画を出品。14年、内国勲業博覧会で日本画の最高賞受賞。娘の暁翠も日本画家。



かわなべ きょうさい
河鍋 暁斎
天保2年(1831)
~明治22年(1889)



暁斎筆「郭子儀図」(部分)

郭子儀(697・781)は、中国の唐代、玄宗皇帝のときに安史の乱(755・763)を平定して功をあげ、以降、徳宗まで四代の皇帝に仕えた武将です。全員の顔と名前を覚え切れないほど数多くの子や孫に恵まれたといわれ、子孫繁栄や長寿の象徴とされています。

暁斎も孫たちに囲まれた姿を堂々とした狩野派の筆法で描いています。企画展では本図の下絵も展示しており、暁斎が修正を重ねて行った様子をうかがうことができます。

河鍋暁斎記念美術館

「狩野派 暁斎画塾 — 臨写ヲ以初ム臨写ヲ以テ終ル —」展
同時開催「Respect! 暁斎。」展
期間=11月1日(火)~12月23日(金・祝)

開館=午前10時~午後4時 休館=木曜日
毎月26日~末日 ところ=南町4-36-4
入館料=一般540円 中学生~大学生430円
小学生以下210円 詳細=同館(☎441-9780)
(20人以上の団体は要予約)



展覧会の詳しい
内容は美術館の
ホームページを
ご参照ください

本作品は現在の展覧会で御覧いただけます

広報に載っている写真を希望者に差し上げます 秘書広報課広報広聴係までご連絡ください